

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2017 年 4 月から 2018 年 3 月に前立腺癌の陽子線治療を受けた方			
②研究課題名	前立腺癌の陽子線治療に用いる補償フィルタの汎用化についての研究			
③実施予定期間	2018 年 6 月 ～ 2020 年 12 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	加瀬優紀	所属	静岡がんセンター 陽子線治療研究部
⑥当院の研究代表者	氏名	加瀬優紀	所属	静岡がんセンター 陽子線治療研究部
⑦使用する検体・データ	陽子線治療計画情報、補償フィルタの形状データ			
⑧目的	陽子線治療では、標的奥側の形状に合わせて陽子線ビームを停めるため、患者毎に作成する補償フィルタ（ボラスとも呼ぶ）という器具が使われる。前立腺癌の陽子線治療は常に水平対向2門で照射されており、各門の補償フィルタは似た形状となる。本研究では前立腺癌陽子線治療の準備期間の短縮と効率的運用に役立つ新技術を開発することを目的に、前立腺照射時に汎用的に使用できる補償フィルタの作成とその線量分布への影響を研究する。			
⑨方法	前立腺癌の陽子線治療を行った患者毎に、陽子線治療計画装置(VQA ver.4)で作成された補償フィルタの形状データを集める。ガントリ角 270° と 90° のそれぞれの陽子線治療ビームについて、平均的な形状に近く汎用的に使える補償フィルタを作成する。それらを治療計画装置に取り込んで新たに線量分布を計算し、患者毎の補償フィルタを使用した場合の線量分布と比較して影響を評価する。また、汎用化した補償フィルタを製作し、模擬ファントムによる線量測定を行い、計算結果と比較する。それらの結果から前立腺癌用の汎用補償フィルタの実用化の課題や改善点を抽出する。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2018 年 6 月 19 日	
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長